

大阪経済記者クラブ会員各位

大阪商工会議所セレクト 町工場 showcase 日本最大級「東京国際ナショナル・ギフト・ショー」に初出展 新商品開発ゼミの受講 5社がオリジナル商品の全国販売に挑む

〔お問合せ〕大阪商工会議所 中小企業振興部(小西、山田)
TEL:06-6944-6472

大阪商工会議所（所管：企業成長支援委員会＝委員長：松本将・マツ六(株)代表取締役社長）は、独自ブース「大阪商工会議所セレクト 町工場 showcase」を日本最大のパーソナルギフトの国際見本市「第99回東京国際ナショナル・ギフト・ショー春 2025」(2/12(水)～2/14(金))へ初めて出展する。本所では訴求力あふれる商品開発の流れを実践的に学ぶ「新商品開発ゼミ」を2023年より実施しており、受講者は稼ぐ力の強化や技術アピールを目指し、BtoBからBtoCへの事業領域の開拓に挑んできた。この度、同ゼミの受講を通して自社商品を開発・改良した5社（中野表具店、柘谷熔接所、プリコラージュ、丸一木工所、U）が、これまで培ってきた技術と職人技が詰まった商品やサンプルを展示し、国内外のバイヤーにプロモーションを行う。

<新商品開発ゼミの概要>

- 「安定受注につなげたい」「現状を打開したい」「競合の多い分野で唯一のポジションを確立したい」の思いを持つ中小事業者に対して、BtoC向けの新商品開発を実践的に学ぶ場（全5回）を提供している。
- これまで大阪府内の計55社の中小事業者（主にBtoB事業者）が参加した。

<主な出展商品>

- ① 襖紙をモダンにアレンジした金封・名言掛け軸
- ② 異種金属の溶接技術を活かした名刺ケース
- ③ 古着や端材を用いたアップサイクルのスツール
- ④ 異業種の職人とコラボし、製造した家具
- ⑤ 世界初の文字形状のお線香

※本所としては、東京国際ナショナル・ギフト・ショーへ単独ブースを出展するのは初めてで、稼ぐ力の強化に向けて商品開発に積極的に取り組む中小事業者の販路開拓を支援する。



大阪商工会議所のブースイメージ

<開催概要>

- 展示会名 第99回東京国際ナショナル・ギフト・ショー春 2025 / 第17回 LIFE×DESIGN
- 日時 2025年2月12日(水)、13日(木)、14日(金) 10:00～18:00 (最終日は17:00)
- 場所 東京ビッグサイト (東京都江東区有明 3-11-1)
- 出展エリア 南1ホール アクティブデザイン&クラフトフェア (南1-T04-26)
- 出展名 大阪商工会議所セレクト 町工場 showcase

<添付資料>

「第99回東京国際ナショナル・ギフト・ショー春 2025 出展企業・商品の概要」

第 99 回 東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2025
第 17 回 LIFE×DESIGN 出展企業・商品の概要（社名五十音順）

1. 紙戸屋・中野表具店（大阪市城東区）HP：<https://fusuma.jp/>

表具商。表具の張替・修復から紙染色、柄付けまでを行う。

開発のきっかけ・思い

和室の減少の影響を受け、表具材料、大工が減少してゆく状況に陥っており、新たな商品で新市場に進出する必要がある。そのため、表具を現代の生活空間に合う和モダンインテリアに再構築した新商品の開発を行っている。「襖＝和室」「掛け軸＝床の間」にとらわれないデザインで、小物やインテリアを届けたいという思いを持つ。



出展予定商品

「金封」（写真右上）、「名言掛軸」（写真右下）

- 入れた紙幣が別のデザインに変身する襖紙の封筒
- 人物像を襖紙の切り絵で表現した和モダンな掛け軸



2. 柘谷溶接所（大阪市西区）HP：<http://hiragitani-welding.com/>

従業員 3 名の金属加工（主に溶接）を営む町工場。鉄・ステンレス・アルミ・真鍮・銅・チタンなどあらゆる金属を溶接する技術力が売り。手のひらサイズから 1t まで幅広い製品に対応。同社代表は 2016 年大阪ものづくり優良企業賞を受賞、2018 年大阪テクノマスターに選出。

開発のきっかけ・思い

「溶接で縁をつなぐ」をテーマに、異種金属の溶接技術を活かした、これまでにない金属製の BtoC 商品開発に挑戦する。職人が楽しくものづくりをしていることを広く知ってもらいたいとの思いから、普段の生活に届く商品開発を目指している。

出展予定商品

「名刺ケース」（写真右）、「フレグランス・ディフューザー」

- 色の異なる異種金属を溶接することにより、柄を表現した名刺ケース
- 気密溶接の技術を活かしたメタリックなディフューザー



3. 株式会社ブリコラージュ（大阪市大正区）HP：<https://bricolage-factory.com/>

従業員 5 名の木製の別注家具・造作建具の工房。大手百貨店の陳列什器の製造下請けから始まり、現在は、店舗や医療機関、学校施設、公共施設の受付カウンターなど大型造り付け家具や住宅向けの造り付け収納家具の設計から製造、取付までを一貫して行う。

開発のきっかけ・思い

コスト面から既製家具で代替されることが増え、市場は縮小傾向にある。自社製品開発により、安定受注につなげたいとの思いから大阪商工会議所のゼミに参加。木工職人の手加工の技と創造性のかかけ算で、工房から出た端材を無駄にしないアップサイクルをテーマにした商品づくりに挑戦している。

出展予定商品

「re:clo stool（リクロスツール）」（写真右）

- 思い入れがある古着を客側から提供してもらい、リメイクして作る座面と、工房から出た端材を利用した脚部を組み合わせるセミオーダーの stools



4. 丸一木工所（八尾市）HP：<http://maruiti.o.oo7.jp/>

従業員2名の別注家具、家具修理や婚礼家具のリメイク等を手掛ける木工所。取引先（法人）からの受注が減少してきたこともあり、20年前にHPを立ち上げ、エンドユーザーから直接注文を請け、オーダー家具の設計から製造、施工まで一貫体制で行っている。

開発のきっかけ・思い

「木というものは人の三世代にわたる手間と時間をかけないと木材にはならない」という事を念頭におき、どんな材料も無駄にしないように心掛け、職人の技で思い入れのある大切な家具等を修復・再生し、長く喜んで使ってもらえるものづくりを目指している。

「工場のまち」八尾において、他社の工場や木工所とコラボし、熟練した職人技と最新の製造技術、デザインを組み合わせた家具を世に出すことで既存の家具を昇華させたいという思いを持つ。



出展予定商品

「Standard Chair」（写真右上）、「サイドテーブル」（写真右下）

- 木と鉄のケミストリとミニマルデザインの融合をテーマに、木工家具の職人が異業種の町工場（金属加工）と共創し製作した家具。

5. 株式会社U（大阪市浪速区）HP：<https://u-incense.com/>

従業員2名のホームページ作成、ロゴ・パッケージ等のデザインを請け負う。

開発のきっかけ・思い

法人からの依頼が減少傾向にあり、日本の素晴らしい文化・技術の世界に発信できるようなモノづくりに取り組みたいとの思いから、世界初の「ありがとう」の文字形状のお線香を開発。

レーザー機、3Dプリンターにて試作を繰り返し、金型制作には、東大阪の板金会社の協力を得て、「ありがとう」の文字が美しく燃える設計を施した。



出展予定商品

○「『ありがとう』の文字形状のお線香」（写真上）

- 2025大阪・関西万博のイメージの赤と青を使用したグラデーション色の世界初の文字造形のお線香。大阪土産としても購入してもらえるよう、お香立てにQRコードをつけ、それを読み込むと大阪の名所風景動画と音楽が流れるような仕掛けも考案中。

以上